

# 子どもが伸びるチャンスを活かそう 青少年育成アドバイザー養成講習会 【平成30年度募集要項】

1. 趣旨 今日、少子高齢化、高度情報通信化、経済のグローバル化、格差の増大などが目立ち、青少年においても、規範意識の低下、問題行動の多様化、社会性の未熟、親子関係の希薄化、虐待やSNS被害の増加、ニート・引きこもりなど自立できない若者など様々な問題が生じ、新しい青少年育成が課題となっています。そこで、青少年の心身の発達過程を理解し、その健やかな成長と自立を支援するための専門的な知識や技術を学び、地域における日常的な各種青少年育成活動の中核となる指導者を養成します。

2. 期日 平成31年2月22日（金）～24日（日）【2泊3日】  
〔受付：22日12:00～13:00〕

3. 会場 国立オリンピック記念  
青少年総合センター(センター棟)

〒151-0052東京都渋谷区代々木神園町3-1

TEL03-3467-7201（代）

アクセス：新宿駅～小田急線(各駅停車)3分  
参宮橋駅 下車 徒歩7分

ウェブページ：<http://nyc.niye.go.jp/>

※ 会場の駐車場は限られていますので

公共交通機関でお越し下さい。



4. 対象者

- ① 青少年の育成指導・教育・支援等幅広く青少年に関わる活動や仕事をしている人
- ② 青少年指導者としての基礎知識や今日の青少年を理解する手掛かりを学びたい人
- ③ 住んでいる地域をいきいきとさせる手掛かりや相談・助言について学びたい人

5. 募集定員 80名（申込締切は平成31年1月26日迄）

6. 参加費 17,000円(2泊3日の研修費7,000円、食費6,000円、宿泊費4,000円)

※ 宿泊・食事は研修会場ですが、特別な理由により宿泊先を別にされる方は参加費より宿泊費を差し引きます。払込方法は別途連絡します。

7. 主催 全日本青少年育成アドバイザー連合会

8. 協力 全国青少年育成県民会議連合会

9. 主管 青少年育成アドバイザー東京会

10. 後援 内閣府政策統括官【共生社会政策担当】 一般社団法人全国社会教育委員連合  
特定非営利活動法人全国生涯学習まちづくり協会（以上予定）

## 11. 研修日程と内容

日(曜)	プログラム	内 容	担 当
22日 (金)	開講式 13:00~13:20	主催者・来賓挨拶 オリエンテーション	主催者 後援者
	講 義① 13:20~14:20	今日の青少年育成アドバイザーの役割について考えます	全日本青少年育成アドバイザー連合会長 山本邦彦
	講 義② 14:30~15:30	「青年リーダーとは何か」を実戦例を交えて具体的に学びます。	元内閣府事務官 櫻川 博三
	講 義③ 15:40~17:10	人間の成長・発達課程を軸に、それぞれの発達段階で、どんな関係や活動、経験が必要か学びます。	群馬大学名誉教授 萩原 元昭
	講 義④ 18:30~20:00	青少年に関心を抱き、青少年を健全に育む町づくりには、どんな発想が必要か実践例を交え学びます。	聖徳大学名誉教授 聖徳大学生涯学習研究所長 福留 強
	課題別研究⑤ 20:15~21:45	各グループ：自己紹介で活動状況を出し合い、グループとしての課題や問題を明確にしてまとめます。	助言者：萩原 元昭 福留 強・下田 太一
23日 (土)	講 義⑥ 9:00~10:30	進化するSNS社会の現状を知り、青少年育成者はどのように向き合い対応すればよいか学びます。	NPO法人青少年メディア研究協会理事長 下田 太一
	講 義⑦ 10:40~12:10	青少年に必要な居場所づくりや連携を築くためのアクションを考えます。	NPO法人ピ・ア・ホ・トネット しぶや理事長 相川 良子
	事務連絡 13:20~13:50	事務局からの連絡案内 アドバイザー活動紹介 など	主催者
	講義・演習⑧ 14:00~16:00	問題を抱えた子どもとその家族の心に寄り添う相談の姿勢を学びます。	青山学院大学教授 小俣 和義
	講 義⑨ 16:10~18:00	青年期に見られる精神疾患の理解と向き合い方について学びます。	あさか台相談室室長 藤本 裕明
	課題別研究⑩ 18:10~19:10	⑤で明確化した問題や課題を深め解決や対策の方向性を検討します。	助言者:萩原 元昭 下田 太一・藤本 裕明 小俣 和義・相川 良子
24日 (日)	課題解決の企画立案⑪ 8:30~12:00	各グループでテーマを絞り、おかれた背景や必要条件を明確にし、具体的方策を立案、討議してまとめます。	助言者：萩原 元昭 福留 強・下田 太一 相川良子
	全体会⑫ 13:00~14:00	各グループで立案した方策を発表し、講師からのアドバイスを参考に明日からの活動を明確にします。	助言者：萩原 元昭 福留 強・下田 太一 相川 良子
	閉講式 14:00-14:30	挨拶と修了証授与。	主催者

※ 講師等の都合により変更になる場合があります。

※ 23日は19:30から全体交流会兼夕食を行います。

## 1 2. 課題選択

研修内容をより深める為に課題別に分かれ意見交換やグループワークを行います。希望課題番号を下記より選び“申込書”に記入下さい。記入が無い場合は、こちらで割り振りを致します。

- ① 青少年の居場所づくりや不登校・引きこもり・精神疾病などの現状とその向き合い方を学ぶ。
- ② インターネット時代の中での子育てと教育に関わる知識、啓発への具体策を学ぶ。
- ③ 価値観の多様化や地域連帯感の希薄化、少子高齢化の中で、青少年健全育成活動をどうデザインするかについて学ぶ。

## 1 3. 青少年育成アドバイザーの認定

- (1) この講習会の修了者には修了証を発行いたします。(認定関連書類も配布)
- (2) この講習会終了後から1ヶ月以内に、**小論文**(1,000字~1,200字) 2編(課題「これからどんな青少年育成活動をおこなっていくか」「この講習会で学び感じたこと」)**青少年育成アドバイザー認定申請書**を全日本青少年育成アドバイザー連合会認定事務局に送付すること。(詳細や質問は本講習会で時間をとって説明いたします。)
- (3) 認定は、主催者の認定委員会が①入門講習会(開催している地域もある)②今回の全日本講習会修了③小論文④青少年育成アドバイザー認定申請書を勘案し、青少年育成アドバイザーとしてふさわしい方を全日本青少年育成アドバイザー連合会会長名で認定し認定証を発行します。但し、入門講習会に参加できなかった方は、後日主催者が指定する補講(受講者に連絡)を受けて頂きます。認定後は各地域の組織に加入して活動できます。

### 【講習会お問い合わせ先事務局】

青少年育成アドバイザー東京会事務局長 配島 裕美 携帯080-5014-8085  
青少年育成アドバイザー養成講習会実行委員長 宇野 晃 携帯090-6571-5955

### 【青少年育成アドバイザー及び全日本青少年育成アドバイザー連合会とは】

青少年育成アドバイザーは、青少年育成活動の分野において専門的知識及び経験を有する青少年育成指導者で、(旧)社団法人青少年育成国民会議による「青少年指導者のための通信教育」を受講、平成23年度以降は全日本青少年育成アドバイザー連合会が主催する「養成講習会」を受講して一定の課程を経て認定されます。(既163名認定)

全日本青少年育成アドバイザー連合会は、都道府県青少年育成アドバイザー会をまとめる全国組織として平成9年9月に発足、会員数約1,300名です。“子どもが伸びるチャンスを活かそう”などをスローガンとした育成課題の全国研究集会なども行っています。

事務局：愛媛県宇和島市三間町是能202-40 谷本 治(宅)

### 【青少年育成アドバイザー東京会とは】

昭和55年に発足し、現在会員数は24名で、地域の育成団体や育成者とのネットワークづくりや資質向上の勉強会、地域の「隣のおじさんおばさん運動として」子どもの見守りや、保護者の悩み相談など行っています。東北大震災の支援イベントやボランティアにも力を入れています。 会長：東京都江戸川区春江町5-17-137 山本又三

# 平成30年度青少年育成アドバイザー養成講習会申込書

【申込方法】下記の事項の記入要領で、FAXでお申込み下さい。

**FAX先 044-933-8568 配島 裕美 宛**

(平成31年1月26日(土)までにお申込み下さい。)

(ふりがな) 氏 名		性別 男・女	年齢(申込時)  歳
住 所	〒		
所 属 (団体・職場)		電話番号 (携帯)	
Eメールアドレス		FAX	
課題選択 宿泊手配 備 考	希望課題選択 (番号を記入)	宿泊先の手配 (○をして下さい)  1.主催者手配希望  2.自分で手配する	備考 Ex: ・フォローアップ研修

- ※ 修了の単位(講義等)は①~⑫のことを指し、新受講者は全単位の取得を原則とします。
- ※ 申込書が不足する場合はコピー 又は アド連HPからダウンロードして下さい。
- ※ お知らせ頂いた個人情報は本講習会の運営及び認定に関する事以外では使用しません。
- ※ この講座は既青少年育成アドバイザーのフォローアップ研修も兼ねています。

【この講習会は国立青少年教育振興機構の助成を受けています】

